

# 広報 砺波広域圏

## 今月号の主な内容

- ・ 砺波広域圏事務組合管理者年頭のあいさつ
- ・ 農業共済センターからのお知らせ
- ・ 砺波医療圏急患センターからのお知らせ
- ・ わらび学園からのお知らせ

白銀の山々と庄川峡を進む遊覧船

## 希望に満ち、魅力あふれる年に

新年あけましておめでとうございます。皆様には平成25年の新春を健やかに迎えのことに、お慶び申し上げます。

本年も砺波広域圏事務組合の事業にしっかりと取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年の広域圏の主な事業を申し上げますと、まず、ごみ処理事業につきましては、広域圏内にあります2つのごみ処理施設の老朽化が進んでいることから、圏域内のごみを一括して効率的に処理できる新しい施設の整備のための準備班を広域圏事務局内に設け、平成33年4月稼働に向けての検討を進めたいと考えております。

農業共済事業における運営体制の強化のための特定組合化（1県1組合化）につきましては、昨年5月に第1回富山県農業共済特定組合設立準備委員会が開催され、特定組合化設立の基本事項、今後のスケジュールについて承認されました。それ以降、4回の準備委員会が開催されるなど、平成26年5月1日の特定組合発足に向け協議を重ねております。

水道事業につきましては、現在の浄水場は昭和51年に供給開始しており、基幹施設が36年経過したことから、老朽化が著しくまた耐震構造にはなっておりません。そのため、平成23年度から浄水場の再構築事業を計画し、昨年は基本設計を策定したところであります。今後とも、安全な水道用水を安定的に供給するため、施設管理に日々努めるとともに、財政状況を考慮しながら水道施設の整備を計画的に進めたいと考えております。

また、広域観光や産業振興につきましては、平成26年度末に迫った北陸新幹線の開業や東海北陸自動車道の更なる利用による広域観光や産業振興に繋げるため、砺波市、南砺市及び東海となみ野会と連携を図りながら、となみ野を代表するチューリップや世界遺産五箇山合掌造り集落、国内最大規模で全国的にも珍しい散居村のほか、四季折々の風景やイベント、特産品・産業のほか暮らしやすさや安全・安心な地域社会の状況も紹介し、砺波地域の活性化に結びつくよう交流活動に取り組みたいと考えております。

終わりに、新しい年が皆さんにとりまして明るく素晴らしい年でありますよう、心からご祈念申しあげ、新年のご挨拶といたします。



砺波広域圏事務組合  
管理者 夏野 修

## 砺波医療圏急患センターからのお知らせ インフルエンザの流行時期に入ります！

今年もそろそろインフルエンザが流行する季節となりました。インフルエンザ感染者のほとんどは軽症で済んでいます。持病のある人・乳幼児・妊婦・高齢者などでは、重症化することがあり、また健康な方でもまれに重症化することが報告されています。インフルエンザの感染拡大を防ぐには、一人ひとりの意識が大切です。受診を円滑に行うため、お越しの際は下記の事項に留意して頂きますようお願い致します。

- 1 妊婦、持病のある方は、かかりつけ医を受診願います。
- 2 急患センターで受診される方及び付き添いの方は、感染予防のため発熱の有無にかかわらず必ずマスクの着用をお願いいたします。
- 3 発症早期の方への簡易検査は行っていません。（インフルエンザは発症早期には簡易検査の陽性率が低いいため、発熱後半日以上経過した方に簡易検査を行っています。）

### ● 受付時間

平日(月～金)・土曜日	午後8時から午後10時30分
日曜日・祭日 12/31～1/3	午前10時から午後5時 午後8時から午後10時30分

### ● 診療科目 小児科、内科

※頭を打った、やけどをしたなどの外科系の病気は、急患センターでは、診療できません。判断に迷う場合は、受付時間内に下記までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ】 砺波医療圏急患センター 小児科 34-7744 内科 34-5005



## 砺波広域圏 わらび学園からのお知らせ

砺波広域圏わらび学園は、日々の生活や遊び、活動の中からお子さん一人ひとりの自立を支援するために、児童福祉法に基づき、砺波広域圏事務組合が設置し、社会福祉法人わらび学園が運営している通所の児童福祉施設です。今年度からは、保育所等訪問支援事業などを通して、地域支援も行っています。

### 社会福祉法人わらび学園の作業療法士の募集

- 募集職種・人数** 作業療法士 若干名
- 雇用期間** 平成25年4月1日から平成26年3月31日までの期間(更新あり)
- 応募資格** 作業療法士の資格(取得見込み可)及び普通自動車運転免許を有する方
- 選考時期** 随時
- 応募方法** 市販の履歴書(写真貼付)に免許書の写しを添え、砺波広域圏わらび学園に提出してください。(郵送可)詳しくはお問い合わせください。  
砺波広域圏わらび学園  
〒939-1503 南砺市若武新314番地 ☎0763-22-6055

### ～ わらび学園 職員から～

あっという間に半年が経ち、元気いっぱいの子どもたちといろいろな活動を通して、たくさんふれあい、子どもたちの笑顔が見られる喜びを日々感じています。また、お子さん自身が日々の小さな積み重ねによって、できることが増えていく、そんな成長する姿に感動も覚えます。一緒に体験したり、喜び合ったりしながら、一日一日を大切に支援していきたいと思っております。

### 農業共済関係表彰者

このたび、次の3名の方が全国表彰されました。  
・ 農業災害補償制度65周年記念表彰 石崎 外雄さん (砺波市東保)  
・ 平成24年度農業共済功績者表彰 南部 常次さん (砺波市庄川町筏)  
前田 喜代志さん (砺波市柘上)  
石崎さんは平成12年から富山県農業共済組合連合会損害評価員として、南部さんは平成5年から、前田さんは平成12年から長年にわたり砺波広域圏共済連絡員として、農業共済事業の普及推進に御尽力されました。

### 砺波広域圏の人口

構成市: 砺波市、南砺市  
人口: 105,099人(-72人)  
世帯数: 33,781世帯(80世帯)  
住基法改正により外国人を含む  
【平成24年11月30日現在  
( )は前号8月31日比】

# 園芸施設共済

## 春の突風からあなたのハウスを守ります!!

- ・NOSAIでは、水稻育苗ハウス（骨組み+被覆材）の加入をお勧めします。
- ・大切なハウスが風害、雪害、ひょう害等に遭った場合その損害を補償します。



### 加入資格について

- プラスチックハウスを200㎡（60坪）以上所有または管理している方
  - 風害等に備えて押さえバンド等、損害防止対策がなされているハウス
  - 所有しているハウスの全棟を加入すること
- ※ 加入期間は2か月以上で、被覆されている期間補償されます。

## 農家負担掛金の目安 掛金の半額を国が負担!!

- **新築のハウスの場合**  
**(例) 間口5.4m、奥行38.0m、設置面積205㎡のハウス 2か月加入の場合**

ハウス本体の価額	205㎡×㎡当たり価額1,800円 = 369,000円
ビニールの価額	205㎡×被覆面積算定係数2.13×㎡当たりのビニールの標準価額476円 = 207,000円
共済価額	369,000円+207,000円 = 576,000円
共済金額(補償金額)	576,000円×80% (付保割合) = 460,000円
掛金	460,000円×掛金率3.329%×月割計算2/12×1/2 (国が半額負担) = 1,276円
農家負担額	<b>掛金1,276円+※事務費賦課金410円 = 1,686円</b>

(時価額を補償させていただきますので、設置されてから数年が経過しているハウスの場合、補償金額は下がりますが、掛金は更にお安くなります)

### 共済金の支払について

被害が発生した場合は、1棟ごとの**損害額が3万円**、または**共済価額の1割**を超える場合に支払われます。

# 建物共済

## 昨年4月の強風など自然災害による損害に備え、総合共済のご加入を!!

いざというときのために、総合共済の加入をお勧めします!!

※ 火災共済では、自然災害は補償されません。

【対象となる主な災害】

### 総合共済

#### 火災共済

火災、建物外部からの落下、衝突、落雷、盗難による果損、汚損、破裂、爆発

+

土砂崩れ・地すべり、風害、雪害、水害、地震、噴火

ただし、地震、噴火の被害は加入金額の30%まで

## 24年産 主要作物等の農業共済事業の状況

### 水稻



水稻の引受面積は8,252haで、前年に比べ転作面積の増加により19haの減少となりました。5月中旬の平均気温は平年より1℃ほど低く、早植え圃場では植え傷みがみられたものの、下旬の日照時間は平年より長く、初期成育は概ね良好でした。梅雨入り（6月9日頃）以降の平均気温は平年よりやや高く、全体的に草丈はやや短め、葉色は淡め、穂数はやや少なめで推移しました。出穂期は「五百万石」、「てんたかく」が7月18日～20日頃、「コシヒカリ」が8月3日～4日で、平年より1日～2日早くなりました。

作柄は、穂数・1穂着粒数・全もみ数ともに「やや少」、登熟は「やや良」で作況指数は100となりました。

被害状況については、8月中下旬の降雨により一部の区域で倒伏が発生しました。また、発芽直後の直播圃場でのカラス等による踏み荒らし、出穂期から成熟期のスズメ等の食害、山間部ではイノシシによる踏み倒しや食害がありました。

引受方式	一筆方式 (7割補償)					品質方式 (9割補償)			
	市名	戸数(戸)	筆数(筆)	面積(a)	減収量(kg)	支払共済金(円)	戸数(戸)	面積(a)	減収量(kg)
砺波市	16	34	290.0	6,214	640,883	0	0.0	0	0
南砺市	6	24	309.0	6,393	625,731	1	1,435.6	9,150	392,965
合計	22	58	599.0	12,607	1,266,614	1	1,435.6	9,150	392,965
前年産	37	110	1,612.4	27,775	2,212,143	0	0.0	0	0

### 大麦



大麦の引受面積は、1,119haで、全国的な増産要請により前年に比べ107haの増加となりました。

播種期において平均気温が高く、降水量が少なかったことから、出芽・苗立ちは良好でしたが、一部圃場で播種後の降雨の影響により発芽不良などの土壌湿潤害が発生しました。また、積雪期間が長かったことから出穂が遅くなりましたが、登熟期が好天に恵まれたことにより成熟期間は短くなりました。登熟は良好で収量は多くなりましたが、容積重が小さくなったこと及び硝子率が高くなったことにより品質が低下した地域がありました。

引受方式	一筆方式 (7割補償)					災害収入共済方式 (9割補償)			
	市名	戸数(戸)	筆数(筆)	面積(a)	減収量(kg)	支払共済金(円)	戸数(戸)	面積(a)	減収量(kg)
砺波市	1	1	14.4	63	9,891	13	3,332.3	18,361	1,556,784
南砺市	5	34	567.6	3,869	378,056	14	9,561.6	48,509	3,306,058
合計	6	35	582.0	3,932	387,947	27	12,893.9	66,870	4,862,842
前年産	3	6	147.2	819	60,670	153	89,682.3	2,139,988	111,183,365

### 大豆



大豆の引受面積は、1,303haで、前年に比べ89ha減少しました。播種後の発芽・苗立ちは概ね良好でしたが、6・7月上旬の降雨により一部の圃場で土壌湿潤害が見られました。

主茎長が長めの圃場では、株の倒伏及び枝葉の損傷が見受けられました。また、葉焼病、黒根腐病は散見されましたが前年より少なく、べと病やハダニ類の発生が平年より多く見受けられました。

### 果樹



収穫共済の引受面積は、かきが19.5haで農家の高齢化や後継者不足等による廃業で前年に比べ2.2ha減少しました。りんごは新規に加入資格を満たす農家が昨年度より2戸増えた減収総合短縮方式で約18a、特定危険方式で319a、なしは特定危険方式で97aをそれぞれ平成25年3月に引受ける予定です。

かきの被害は一部の圃地で樹体の折損や降雹による被害が見受けられましたが、着果数は平年並みでした。りんごやなしについても成育状況は平年並みでした。

### 園芸施設



平成24年11月末現在の引受状況は、187棟と前年に比べ11棟の減少、戸数では39戸と2戸増加しました。被害発生状況は、4月3日及び4月26日の強風により、27戸の農家等で94棟が共済被害該当となり、支払共済金は8,664,789円となりました。